

抜歯治療により矯正治療治療をされた患者様へ

1. 現在、矯正歯科では
「歯科矯正用アンカースクリューの加齢固定効果の評価」という研究を行っています。
一般的に、上の前歯が出ている患者様には、中間の歯を抜歯してそのスペースを利用し、上の前歯を後ろに移動させる治療が行われます。最近、この方法に歯科矯正用アンカースクリューを用いると効果的に前歯が移動できることがわかってきました。当科でも、上の前歯が前に出ている患者様に対して、従来の方と歯科矯正用アンカースクリューを用いた方法との比較をする研究を行っています。
2. 本研究は、東京歯科大学倫理委員会の承認を受けて実施しています。
3. 調査の対象となる患者様は、2000年1月1日から2015年1月31日の期間で前歯が出ているのを抜歯による矯正治療で治された方です。
4. 調査担当者が、患者様治療記録より、年齢、性別を確認し、治療前後のエックス線写真による分析を行います。
5. 分析データには、上記4.のデータのみ入力されます。住所、氏名などの患者様の個人が特定される情報が入力されることはありません。
6. 本研究の成果は、学会や科学専門誌などに発表される場合がありますが、名前や個人が特定される個人情報とは公開されることはありません。
7. 本研究についての疑問点やご質問は、下記研究代表者、矯正歯科受付にご相談ください。

お問い合わせ

東京歯科大学千葉病院矯正歯科受付 043-270-3903

研究代表者 西井 康
